



形成外科より

下肢静脈瘤血管内治療について

下肢静脈瘤とは、
足の血管がコブになる病気です。

ポコポコと大きい静脈瘤が目立ち、
足のだるさやむくみなどの症状などが
重症化し手術が必要になることがあります。

あるいはクモの巣状または網目状に
血管が浮き上がったりします。



レーザー治療(焼灼術)を行っています

異常をきたした静脈を血管内からレーザーで焼き潰す治療です。
先端からレーザー光を発するカテーテルを膝付近の静脈からメス
で皮膚を切ることなく挿入します。



低侵襲 グルー治療を開始しました

静脈瘤の原因となっている血管に、瞬間接着剤(アロンアルファ
のようなもの)を注入し、血管を塞いでしまうという低侵襲な治療
法です。

クモの巣状静脈瘤(→)は注射による治療が可能です。

当院は、下肢静脈瘤認定施設です。

下肢静脈瘤認定指導医2名による治療をいたします。



理事長
曾我部 仁史

形成外科 科長
土岐 博之

 松山まどんな病院